

京都・伝統工芸（西陣織・京友禅・丹後織物）の持続可能な発展へ
インテリア業界向けオリジナルファブリックを開発、見本帳「情景」を発行
～インバウンド客向け宿泊施設の高付加価値化・改修に、特注インテリアとしての需要を喚起～



建設DXに取り組む野原グループの野原ホールディングス株式会社（所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：野原弘輔）のVDC(Virtual Design & Construction)事業開発部は、**京都府と西陣織・京友禅・丹後織物の3産地組合を構成員とするシルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム（以下、コンソーシアム）と、新たな販路開拓等を目的とするプロジェクトⁱの第2期（2022年4月～2023年3月）として、伝統染織技術や織加工技術を取り入れたインテリア業界向けのオリジナルファブリック（生地・織物、13種）を開発し、設計関係者向けの見本帳・ファブリックサンプルブック「情景」を2023年4月28日に発行しました。**

インテリア業界では、**独自性を出すための特注品へのニーズが年々高まっています**。さらに、**2023年度のインバウンド需要ⁱⁱの拡大予測**を背景に、政府発表の政策案（2023年2月9日付け、観光庁「新たな観光立国推進基本計画の素案」ⁱⁱⁱ）では、「**宿泊施設の高付加価値化と改修の必要性**」が明示されています。

野原ホールディングスとコンソーシアムは、オリジナルファブリックとファブリックサンプルブック「情景」を通じて、京都・3産地（西陣織・京友禅・丹後織物）が誇る伝統工芸のインテリアとしての可能性を業界関係者に紹介し、宿泊施設を含む商業施設等の高付加価値化に貢献します。

同時に、**独自のデザインが特長のオリジナルファブリックを、インテリア・建築・空間デザイン分野における新たな顧客体験価値の創造に役立て**、京都・3産地（西陣織・京友禅・丹後織物）の匠の技・独自性・ものづくりの素晴らしさをインバウンド客のみならず、国内外に広め、**染織産地の持続可能な発展を応援**します。

オリジナルファブリック（13種）について	
特長	<p>1. 独自性 インテリアでの活用を念頭におき、歴史ある京都伝統生地である西陣織、京友禅、丹後織物の各伝統工芸事業者の優れた技術をデザインに取り入れることで、他メーカーとは異なる独自性を打ち出している。特に、京都の自然や文化、繊細な優美さにインスピレーションを受けたデザインが目を引く。</p> <p>2. 多用途性 インテリア（ソファや椅子の張地、ラグ、ベッドカバー、カーテン、クッションカバー、テーブルクロスなど）、パーテーション、ファブリックパネルなど、様々な用途を想定。</p> <p>3. 再生・循環型 リサイクルポリエステル生地の一部を採用。</p>
インテリアとしてのおススメポイント	カスタマイズオーダーにて特注製作、一点物のインテリアで高付加価値化家具の張り地やカーテン等に部分的に使用することで、装飾や差し色として鮮やかな演出ができ、コーディネート次第で施主やオーナーの好みや個性を反映することも可能。
テキスタイル監修	福田貴久子（FUKUDA DESIGN STUDIO）
ファブリックブック「情景」について	
特長	<p>設計者が施主に提案しやすい内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ オリジナルファブリックのインテリア使用例をCGで製作し掲載（インテリアとして空間に採用した際のイメージがわかりやすい） ✓ 生地素材・色味を実物で確認できる
デザイン・ディレクション監修	スコア株式会社 https://scoreworks.jp/ ※ホテルや商業施設等の内装を手掛けるインテリアデザイン事務所
部数	25部
価格	無料 ※貸出対応（貸出期間の目安は約1か月）
取寄方法（フォーム入力）	https://meistercollection.kyoto/contact2/#contact-catalog
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルツインカタログ「THE KYOTO MEISTER COLLECTION」 【WEB】https://meistercollection.kyoto/ ・TECTURE MAG「テキスタイルデザイナー福田貴久子氏に聞く、空間デザインに使える伝統テキスタイル開発ストーリー」 【WEB】https://mag.tecture.jp/product/20230511-88579/



■ファブリックの活用イメージ_ウィンドウトリートメントのほか、ソファの張り地やクッションカバーに採用



■ファブリックブック「情景」_オリジナルファブリックの質感や色彩を実物で確認できる

京都・伝統工芸（西陣織・京友禅・丹後織物）と SDGs

1. 養蚕と CO2 の吸収

京都・伝統工芸（西陣織・京友禅・丹後織物）には、生糸・絹糸が使用されています。

生糸・絹糸は、養蚕業によって支えられています。

養蚕では、その生産過程において、蚕の餌となる桑が CO2 を吸収し、地球環境への負荷をかけないと言われています。

2. 絹織物は土に還る

京都・伝統工芸（西陣織・京友禅・丹後織物）は絹織物です。

絹織物は、土に還る素材であり、「陸や海の豊かさを守る」という点で SDGs の達成にも貢献しています。

3. 再生繊維の開発

コンソーシアムの会員である有限会社フクオカ機業は、リサイクルペットボトル繊維を使用し西陣織の技術で織った織物「リペリック」を開発しています。

今回のオリジナルファブリックでも、その一部にリサイクルポリエステル生地を採用しています。

シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムについて

京都がシルクテキスタイルの世界的な産地となることを目指して西陣織・京友禅・丹後織物の3産地組合と京都府により2021年4月に設立。京都の染織関係の事業者が行うインテリア分野やファッション等の新たな分野への進出に対する支援など、3産地が連携して染織産地の再構築に取り組んでいます。

〈構成団体〉西陣織工業組合、京友禅協同組合連合会、丹後織物工業組合、京都府

〈事務局〉京都府商工労働観光部染織・工芸課（075-414-4856）、西陣織工業組合

野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。<https://nohara-inc.co.jp>

<VDC 事業開発部 主な事業内容>

1. 設計・施工・維持管理などに関する情報の一元管理を可能にする BIM (Building Information Modeling/ビム) 活用支援
2. AI (人工知能) による図面読み取り自動積算 WEB サービス「TEMOTO」
3. 世界最大規模の BIM コンテンツプラットフォーム「bimobject.com」の運営及び、メーカー製品の BIM オブジェクト作成請負
4. 2020 年 8 月から販売リセラーとして、Matterport 社の 3D カメラ及びクラウドサービスを販売、撮影・編集のサポート、開発【リセラーサイト WEB】 <https://www.nohara-vdc.jp/matterport/>

<野原グループと京都府のこれまでの取り組み>

私たちは、コロナ禍の 2020 年 10 月、BIM を使って日本の優れたモノ・コトを世界に届ける新たな取組みの一つとして、京都府が誇る伝統工芸品 (9 社、12 製品) を世界最大規模の BIM コンテンツプラットフォーム「bimobject.com」に掲載しました。

この取組みをきっかけに、京都府やシルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムと、デジタル技術を使って伝統工芸品の新たな魅力を発信する試みや、新規販路の開拓に向けた活動を積み重ねています。

京都・伝統工芸品の新たな魅力発信と野原グループ

2020/10/21	世界 200 万人に発信！京都の伝統工芸品を bimobject.com に初掲載 https://nohara-inc.co.jp/news/release/3997/ ※掲載した伝統工芸品 (9 社、12 製品) の一部は、掲載後約 3 ヶ月の製品データダウンロード数がインテリアアート・装飾カテゴリ全体のダウンロード数の 20% を占めるなど、伝統工芸品への世界的な需要の高さが実証されています。
2021/2/18	最先端デジタル技術を使用し、XR 体験サイト「京きもの語り」の開発を支援 https://nohara-inc.co.jp/news/release/4500/
2022/3/22	伝統工芸 (西陣織・京友禅・丹後織物) の建材・インテリア市場参入を支援 https://nohara-inc.co.jp/news/release/5957/
2023/5/11	京都・伝統工芸 (西陣織・京友禅・丹後織物) の新規販路開拓へ、インテリア業界向けオリジナルファブリックを開発 https://nohara-inc.co.jp/news/release/7351/

【お客さまからの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
VDC 事業開発部
e-mail: kyoto-meister-collection@vdc-solution.jp

【報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社
マーケティング部ブランドコミュニケーション課
担当：森田、齋藤
e-mail: nhrpreso@nohara-inc.co.jp

ⁱ 野原ホールディングスとシルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアムは、2022 年 3 月 22 日、京都・伝統工芸 (西陣織・京友禅・丹後織物) の建材・インテリア市場への参入を支援する目的で、デジタルツインカタログ「THE KYOTO MEISTER COLLECTION」 (<https://meistercollection.kyoto/>) を発表しました。 <https://nohara-inc.co.jp/news/release/5957/>

ⁱⁱ 2023 年度のインバウンド需要は、野村総合研究所 (2023/2/21 発表) によれば、コロナ前 (2019 年) を上回る 4.96 兆円と予想されています。
https://www.nri.com/jp/knowledge/blog/1st/2023/fis/kiuchi/0221_2#:~:text=2023%E5%B9%B4%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%83%90%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%89%E9%9C%80%E8%A6%81%E3%81%AF,9%2C580%E5%84%84%E5%86%86%E3%81%A8%E3%81%AA%E3%82%8B%E3%80%82

ⁱⁱⁱ 2023 年 2 月 9 日付け、観光庁「新たな観光立国推進基本計画の素案」の詳細は、観光庁ホームページを参照願います。
<https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/content/001586267.pdf>